平成27年5月吉日
有限会社 竹笹堂

報道関係者各位

寺社仏閣に眠る仏画等の木版画摺りと版木復刻事業を本格的に開始

▲愛媛県・真言宗岩屋寺所蔵
不動明王像の仏画新版制作

1891年創業、京都の木版摺り職人工房・竹笹堂は全国の寺社仏閣に所蔵され現在は使われていない仏画や御札の木版を復刻する事業の展開を始めました。

古い版木は再使用が難しいといわれていますが、竹笹堂では木版を扱う摺師・彫師の職人ら専門家の知識より改善策を考案し版木の状態にあわせて当時の印刷を再現します。新しい版木を作るほか、この技術を用いて歴史的価値が高いものや、代々受け継がれてきた寺社特有の木版画を現代に蘇らせます。仏画や御札は信仰の対象として我が国では今も大切な存在です。

日本では古くからの慣習の中に日々の暮らしに寄り添う木版画がいくつもありました。その様な文化を守る一端を担うため日々研究を進めております。

■ POINT

寺社仏閣が所有する版木はかつて所有者である当主自ら摺りを行い信者に流布されていました。竹笹堂では木版を復刻した後、当時と同じように当主が摺りを行えるよう職人が摺りの技法やメンテナンスの方法を指南することも可能です。

寺社仏閣から古来と同じように木版画が摺られ流布することは、日本人が大切にしてきた信仰心を次世代へ受けついでといく事につながると考えます。また、眠っている版木が活用され、手入れされる事で木版文化そのものが継承されていくことを願っております。

▲神奈川県・日蓮宗本遠寺所蔵
約100年以上前の御札版木を修復

■ 竹笹堂について

創業120余年、現代では希少となった京版画と浮世絵の技術を継承する。老舗の掛け紙や料紙などを制作する一方、オリジナル作品や商品の制作・販売を行う。また、木版技術を守り伝えるためワークショップの開催や学術的な研究活動にも取り組んでいる。

竹中木版
竹笹堂
TAKEZASADO SINCE1891

◆お問合せ／プレス担当：加藤　メール／ de@takezasa.co.jp
〒600-8471　京都市下京区綾小路通西洞院東入る新釜座町737
TEL(075)353-8585 ／ FAX(075)353-8586 ／ http://www.takezasa.co.jp/